

プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

コンゴ民主共和国

カンボブ地域開発プログラム(ZAR-185919)



ワールド・ビジョンの支援で手術を受け、骨折した腕が完治したセバスチャン君(8歳)

チャイルドストーリー

支援によって大怪我から回復することができました

カンボブ地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域で暮らすセバスチャン君は9人兄弟の末っ子で、活発に遊ぶのが大好きです。いつものように家の近所で木登りをしていた時に事件は起こりました。木から落ちて腕を怪我してしまったのです。母親がすぐに病院に連れて行ったところ、右腕の上腕の骨が2本とも折れていることがわかりました。手術を受けなければ腕を切断しなければならないかもしれず、治療には約72米ドルの費用が必要と告げられましたが、セバスチャン君の両親に払える金額ではありませんでした。

困った母親はワールド・ビジョン(以下、WV)のスタッフに相談し、セバスチャン君は医療費の支援を受けることができました。手術から3カ月経ち、添え木も取れてセバスチャン君の手は元通りに回復しました。「WVの支


援がなかったら、息子はどうなっていたことか。本当に困っていた時に助けていただいたことに心から感謝しています」と母親は笑顔で話してくれました。



母親(中央)やおば、兄弟、親戚とともに元気に暮らしています

教育プロジェクト

保護者に教育の大切さを伝えるための活動を積極的に行いました

 **31**人の子どもたちが採掘現場から学校に戻ることができました

カンボブ地域には鉱山があり、日雇い労働を強いられる子どもたちが多くいます。そこで、保護者に子どもを学校に通わせることの大切さを伝えるための働きかけを行いました。子どもが自分たちの権利を考え、主張できるような活動を行う「子ども

議会」の働きかけもあり、2014年度は31人（うち女子が13人）の子どもたちが採掘現場を離れ、学校に戻ることができました。これらの子どもたちは順調に授業についていくことができています。



学校で勉強する子どもたち



経済的事情で学校へ通うことができない十代の女子に対してミシンを提供し、縫製を教える活動もしています

公衆衛生・保健プロジェクト

子どもと母親の栄養状態の改善に取り組んでいます

地域の母親たちが栄養バランスのとれた食事を作れるようになり、子どもや母親の栄養状態が改善されつつあります。2014年度は、6カ月未満の子ども417人の母親に対して母乳育児指導や乳幼児の食事指導を行いました。この結果、病気に対する子どもたちの抵抗力が上がり、元気に育っています。また、5歳未満の子ども6,026人の母親に対して、予防接種、ビタミンA補助剤、蚊帳の使用を徹底するよう指導し、感染症やマラリアなどの病気から子どもたちを守るよう取り組んでいます。

上の6人の子どものうち4人を亡くしました。私の子どもたちは呪われていると思っていましたが、医師から貧血が原因だったと告げられました。これからは鉄分を含む栄養バランスのとれた食事を作ります



3カ月の娘を抱くケンベさん (36歳)



5歳未満の子どもを持つ **1,382**人の母親が健康指導を受けました

農業・生計向上プロジェクト

農業組合が活発に活動しています

20の農業組合に加盟している400世帯が、生産力やマーケティング、品種改良や土壌管理、農産物の貯蔵方法など、多岐にわたる技術の向上に取り組んでいます。この結果、主要農作物であるトウモロコシの収穫量が、2013年度の382トンから2014年度は511トンに増加しました。これらを貯蔵し、適切な時期に販売することで収入が増え、子どもたちに教育や必要な医療サービスを受けさせることができるようになりました。

また、養蜂にも力を入れており、地域内に2つの農業組合を結成し、61カ所に巣箱を設置しました。その結果、140リットルの蜂蜜を販売することができました。蜂蜜からワックスやソフトワインなどの加工品も作られています。



農業技術が向上し、トウモロコシの収穫量が増えました



製品になった蜂蜜

\$

トウモロコシ **511t**、蜂蜜 **150ℓ** を収穫



支援地域の女性のインタビュー

栄養について学び、家族の食事に気を付けるようになりました

Q. 家族構成を教えてください。

夫と10人の子どもとともに暮らしています。

Q. 子どもの頃学校に通いましたか。

いいえ、通いませんでした。4年半裁縫を習う機会がありました。

Q. ADPのどのような活動に参加していますか。

貯蓄グループに参加しています。また、栄養や家畜の飼育・繁殖に関する研修に参加しました。栄養について学んだことで、家族の食事に気を付けるようになりました。また、私の店に食料品を買いに来るお客さんにも、食品に関してアドバイスができるようになりました。

Q. 今の夢を教えてください。

現状に留まることなく、店をもっと成功させたいです。養鶏にも挑戦してみたいと思っています。



雑貨店を営むジーニーさん（42歳）



ADP マネージャー・インタビュー

Q.どのような仕事をしていますか。

ADPの責任者として、予算に基づいたプロジェクトの企画運営、行政や他のNGOとの関係構築、プロジェクトの進捗管理を行い、地域の子どもたちが適切に保護され、健やかに成長しているかを確認しています。

Q.2014年にいちばん困難だったことは何ですか。それをどのように解決しましたか。

限られた予算で予定された活動を行うのは大変でしたが、地域の人々と話し合いを重ね、予算配分の見直しを行うことで、活動を進めることができました。

Q.WVで働く上での喜びは何ですか。

私は子どもが好きなので、子どもたちとともに子どもたちのために働くことができることを嬉しく思っています。

地域の人々と日々接する中で、その発展に貢献していると実感できることが私の喜びです。



カンボプADPマネージャー
ジャン・デューイー・ムシツと地域の子どもたち

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



支援により、子どもたちが教育を受け、健やかに成長することができています

チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。このために、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行いました。また、チャイルドの家族や地域の人々が「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行いました。

2014年度は、これまでの活動を評価するとともに、次期5カ年に向けた各活動の計画や予算についての見直しも行いました。

会計報告

ZAR-185919

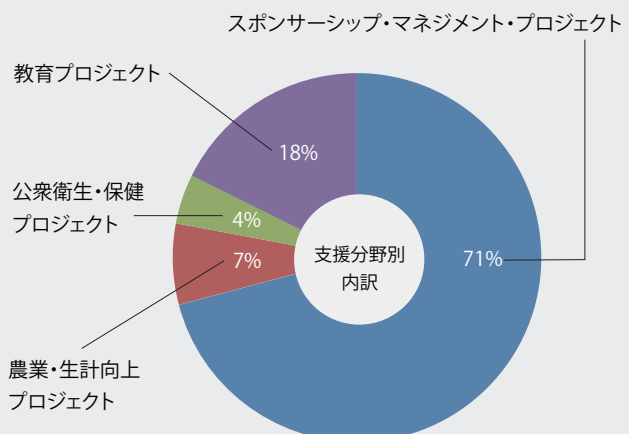
収支計算書 自2013年10月1日 至2014年9月30日

プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	37,437,493
当期支援額	37,437,493
前期繰越金	-3,908,578
プログラム支援額合計	33,528,915

プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	28,058,008
農業・生計向上プロジェクト	2,807,219
公衆衛生・保健プロジェクト	1,732,745
教育プロジェクト	6,998,310
プログラム支出額合計	39,596,282
次期繰越額	-6,067,367



2014年はADPの支援活動の第1段階最終年のため、これまでの活動を評価するとともに、第2段階に向けた各活動の計画や予算について見直しを行いました。そのため、スポンサーシップ・マネジメントの割合が高くなっています。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話：03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)

FAX：03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ：www.worldvision.jp

e-mail：dservice@worldvision.or.jp